

第 40 回インナーゼミナール大会

研究計画書

ゼミ名	藤本ゼミ II
チーム名	エコリッチ
タイトル	世界環境を救うのは誰だ!?
テーマ群	g) その他
メンバー	◎大橋邦旭、岩村優康、岩本隆志、木次利旗、倉本和也、野村亮輔、宮田享、村岡俊典
研究計画内容	<p>2010 年に国内総生産で日本を追い抜くと予想されている中国。今や新たな世界の工場として地位を確立している中国だが、GDP 成長率 6.3%と急激な経済成長を遂げるなかで、経済成長に欠かせない 2 つのものを失いかけている。さらに都市部と農村部との間における所得格差、CO₂ 排出によって引き起こされる温暖化や大気汚染などの自然破壊、この自然破壊からの水不足など様々な問題が発生している。温暖化ガスにより引き起こされる温暖化が世界的に問題視されるなかで、従来の CO₂ を大量に排出する化石燃料を使用して得ることができるエネルギーで成長してきた中国は、先進国から白い目で見られてきた。さらに CO₂ 排出量が世界で 1 位になった今、環境保全の観点から、CO₂ 削減を行わなければならないだろう。しかし経済成長をゼロ成長にというわけにもいかず、従来の成長を続けるわけにもいかない。さらに発生しているさまざまな問題に対しても原因を明らかにし、解決の糸口を探り問題を少しずつ改善していかなければ、国民の意識を改善することができない。これらをすべて解決するには何を行えばいいのか、また先進国とどのような関係を築くのか、先進国が中国に技術を提供するとどのような変化が起きるのか、そしてこれから到来する低炭素社会において、中国がどのような中身の成長を遂げるべきなのかを検証し、新しい経済成長を提案する。そして、その成長が中国だけでなく先進国にも適応できるものなのかということを検証する。</p>